

令和2年度2学期始業式 式辞

おはようございます。令和2年度の2学期がいよいよ始まりますが、皆さん、元気ですか？残念ながら、31名の生徒全員揃っての始業式とはなりませんでしたが、今日こうして皆さんの元気そうな顔を拝見でき、正直少しホッとしています。

新型コロナウイルスの感染拡大により、いつもの年の半分しかなかった夏休みが終わりました。19日間というかつて経験したことのない短い特別な夏休みとなりましたね。

当初は、夏休み中に文化祭練習をスタートさせ、前半は部活動も行う計画でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、やむなくそれできなくなりました。外出自粛をお願いし、皆さんには大変不自由な思いをさせてしまいました。しかし、皆さんや西表の島の皆さんの命には代えられません。自由に行動できない中で皆さんなりに考え、それぞれが適切に行動してくれたものと考えています。

朝のラジオ体操がない、夏の甲子園の高校野球中継もない、地域子ども会の計画も中止、自由に遊びにも行けないなど、これまでとは全く違った夏休みだったと思いますが、その中でどのように過ごし、コロナ禍と言われている中で、どんなことを感じ取ることができたでしょうか？

おそらく、コロナのせいで計画のすべてが台無しになったと考えている人もいるでしょう。確かにそうだと思います。夏休みにやりたかったこと、楽しみにしていたことを奪ったコロナウィルスは、それだけでなく、私たちや私たちの大切な人の健康や命までも奪おうとするやっかいなウィルスです。感染力が強く、無症状者からも移るため、知らないうちに感染してしまうことがあります。なので、感染者が悪いというわけではないということをしかり理解してください。西表西部地区でも17名の感染者が出ました。誰でも感染する可能性があります。リスクがあるということです。そのため、「自分が感染したときに言われたら傷つくようなことは、絶対に人に言わない」ことを守ってほしいと思います。その上で感染防止対策、しっかりやっていきましょうね。

しかし、逆に考えると、コロナのおかげで、気づかされたことも少なからずあったのではないのでしょうか？日常のあたりまえのことが、実はかけがえのない大切な出来事の積み重ねであったということにも、改めて気づかされたことと思います。学校に行く、部活動をする、外で自由に遊ぶ... など、あたりまえに思っていたことがコロナのせいで制限され、あたりまえにできなくなった。「あたりまえ」がいかに有り難く尊いものなのかを感じることはできたのではないのでしょうか。

また、コロナのせいで「コロナから身を守る」という工夫・行動をすることにより、いつもと違う夏の過ごし方や楽しみ方を発見したと思います。それは自分だけが楽しければいいといった自分勝手なものではなく、他者の健康や命を守りながら共に楽しむという「思いやりの心」につながっているものです。

新型コロナウイルスの感染拡大は、今も予断を許さない状況です。特に緊急事態宣言が出された沖縄は、危機的状況にあります。「ウィズ・コロナ」という言葉通り、ワクチンが開発されない限り、これから先もコロナと一緒に生きていかなければなりません。今後とも、「手洗い、マスクの着用、ソーシャルディスタンス」などの「新しい生活様式」を徹底していきましょう！その中で一番難しいのが「ソーシャルディスタンス」の確保だと思っています。ソーシャルディスタンス(社会的距離)は、社会みんなで気持ちよく生きていくために保つ距離のことです。すなわち、相手を大切に思い、目に見えないウィルスからお互いを守るためには、一定の距離が必要ということです。自分を、そして相手を思いやる、そんな人たちがあふれる社会は、とてもすばらしい社会だと思います。是非、それが学校、家庭、地域社会で、できるよう心がけていきましょう！

(代表4名の2学期の抱負より) 4名のあいさつより抜粋 さて、1学期は「基礎を耕す学期」でした。2学期は「目標に向かって鍛える学期」です。皆さんよく知っての通り、2学期は学期の中で一番長い学期です。特に今年はいつもの年以上に長い2学期になります。文化祭、浦内川筏下りなど、大きな行事が控えています。コロナの影響がどの程度になるかは、現時点では分かりませんが、みんなで力を合わせ、一つ一つの行事がうまくいくよう、できることを考え、しっかり取り組んでいきましょう！

また、学習面においても、じっくり腰を据えて日々の授業、家庭学習に集中して取り組んでいくことが何より大切です。夏休みで少し緩んだ生活を一日も早くもとのペースに戻していきましょう。

結びになりますが、長い2学期です。何事もすべてうまくいくことばかりではないと思います。思うようにいかない、苦しかったり、辛かったりすることもあると思います。そんな時は、船浦中の仲間がいる、みんなで互いに支え合い、励まし合って乗り越えていこうと云う気持ちをもってほしいと思います。そうした課題をみんなで乗り越えてこそ味わえる達成感、充実感があります。是非、みんなで「よくやった」という達成感、「頑張った」という充実感を味わえるよう、実り多き2学期となるよう頑張っていきましょう！皆さんの2学期の活躍と大いなる成長を期待し、始業式の式辞といたします。

令和2年8月20日
竹富町立船浦中学校
校長 仲田 欣五

